

現場が主役の物流DX 成功の共有で全社改革へ

川崎重工業株式会社 エネルギーソリューション&マリンカンパニー
船舶海洋ディビジョン
コストエンジニアリング部
西尾 朗満

カワる、
サキへ。

Changing forward

目次

1. 川崎重工業株式会社について
2. コストエンジニアリング部とは
3. 坂出工場へのMOVVO Berth導入
4. 課題解決後の部署の進化
5. 社内展開と事業間協力



1-1. 川崎重工業株式会社について “事業別売上収益比率”

その他事業 4.2%

船舶海洋事業

4.2%



パワースポーツ&エンジン事業

28.6%



精密機械・
ロボット事業

11.3%



航空宇宙システム事業

26.6%



車両事業

10.4%



エネルギー・プラント・
船用推進事業

14.4%



2024年度 連結売上収益
21,293億円

坂出工場

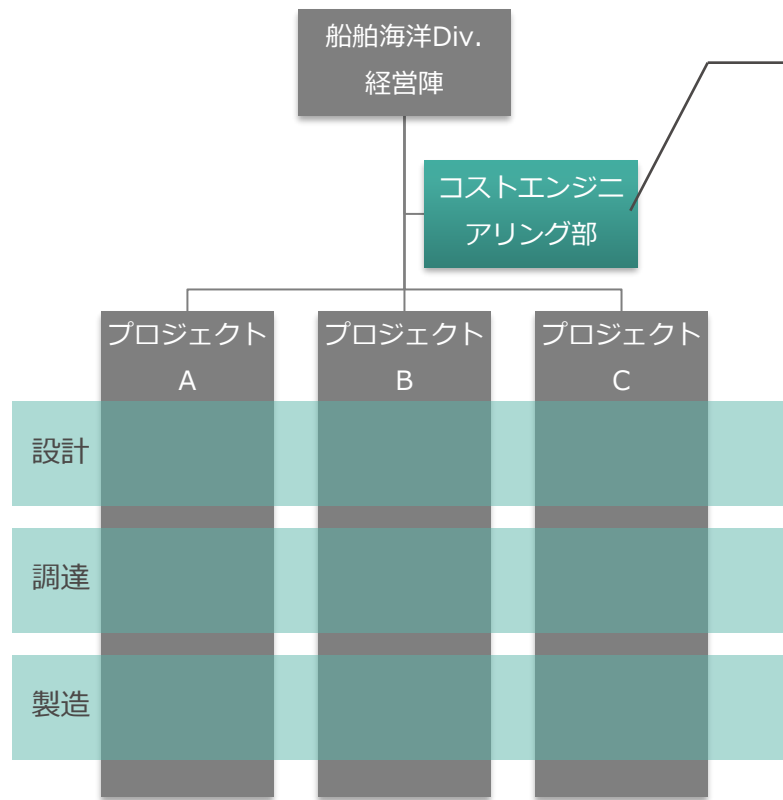


目次

1. 川崎重工業株式会社について
2. コストエンジニアリング部とは
3. 坂出工場へのMOVVO Berth導入
4. 課題解決後の部署の進化
5. 社内展開と事業間協力



2. コストエンジニアリング部とは？



役割

- コスト最適化を目的に関連部門を有機的に結合させ、部門横断型取組みの先導
- 旧来の仕組みによる判断ではなく、科学的手法による課題解決の先導

活動対象

- 材料費のみならず、製造原価、工場内設備費、工間費などのコスト最適化
- 取引先のL/T短縮、物流改善の為の協業等も…

メンバー

様々な部署の集合体



設計



設計



調達

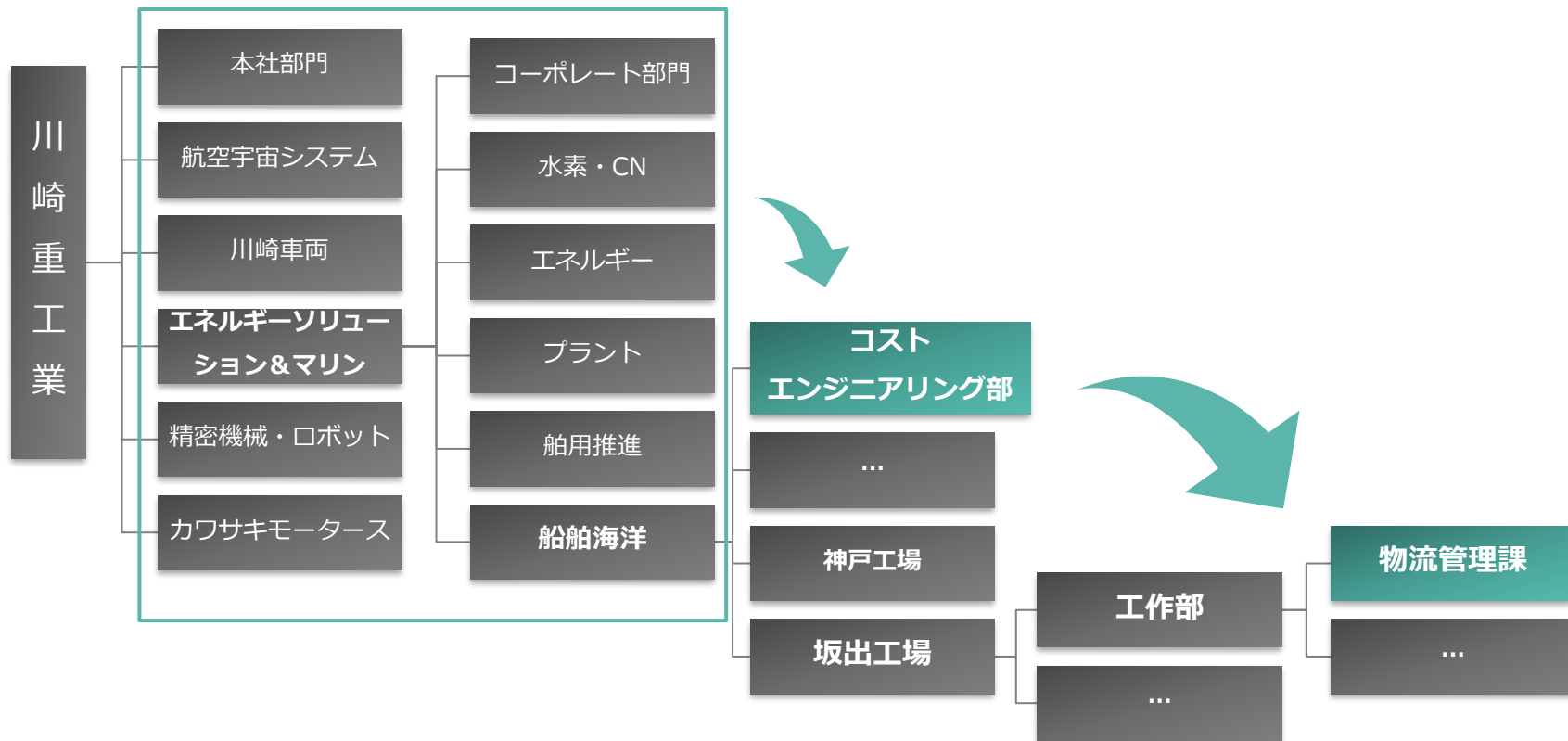


製造



製造

2. コストエンジニアリング部とは？



目次

1. 川崎重工業株式会社について
2. コストエンジニアリング部とは
3. 坂出工場へのMOVO Berth導入
4. 課題解決後の部署の進化
5. 社内展開と事業間協力



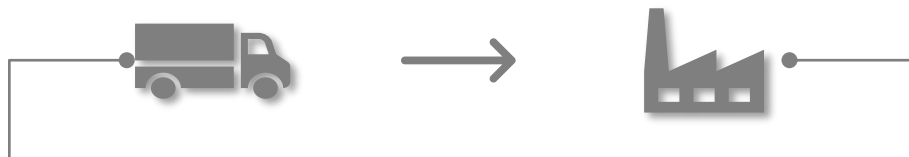
3. 坂出工場へのMOVVO Berth導入

導入スケジュール



3. 坂出工場へのMOVO Berth導入

坂出工場における貨物特性・荷受け環境



	荷物	頻度	トラック
本州	■ 機械類	1回/2か月のサイクル	庸車 (10ton平車)
	■ 輸入品		
	■ 大型貨物	8台/日	
近隣	■ 鉄艀装品	ほぼ毎日 2台/日	自社便 (自社ドライバー)

坂出工場：荷受け事業者

- 敷地面積：約911千㎡
- 従業員数：約1,500名（請負・関連会社含む）
- 規格サイズ貨物ではなく、重厚長大な一品一葉の貨物が多数
- 上記所掌バース：7か所
- 物流管理課 荷受け担当：約25名

3. 坂出工場へのMOVVO Berth導入

坂出工場における貨物特性・荷受け環境



3. 坂出工場へのMOVVO Berth導入

導入スケジュール



3. 坂出工場へのMOVVO Berth導入

No. 課題の抽出

①

TEL・FAX・メールと複数媒体での
日程調整依頼・差配
⇒紙で荷受け予定を社内共有

②

重量物・偏荷重・異形の貨物の
情報は余裕を持って入手したい

③

毎朝の受付対応の混乱
ドライバー同士の小競合い

④

工場内外の駐停車が多数
⇒通勤車両・構内搬送の障害

⑤

デジタルエビデンス取得の仕組みが
ない

解決策

社内外のスケジュール管理をBerth
システムへ一元化。紙からの脱却。

システム画面で大型貨物詳細情報を
入手。事前準備の容易化を狙う

Berthの受付機能で混乱回避

Berth導入で不安全環境の解消

Berth導入で懸念解消

3-1. 坂出工場へのMOVVO Berth導入 “現場のリアル”

③

毎朝の受付対応の混乱
ドライバー同士の小競合い

ドライバー受付での毎朝の光景

いつまで待っても呼びに来ないけど
折返し便があるから早く降ろして！

荷物持ってきたけど、どこで降ろ
してくれるの？ とりあえず、受付
に行くようにいわれたけど・・・

何で後から来たトラックが
先に誘導されるの？



荷受け場所は…
台帳確認するから待つ
て！

3-1. 坂出工場へのMOVVO Berth導入 “現場のリアル”

慣習の継続運用が生んだカオス

外的要因

情報の少ない送り状から、貨物が何かを判断する

内的要因

荷受け場所と数千に分類された貨物の照合を台帳から行う

3. 坂出工場へのMOVO Berth導入

MOVO Berth導入スケジュール



3. 坂出工場へのMOVVO Berth導入 “理想業務を画面展開”

課題解決に向けたディスカッションを徹底

①

TEL・FAX・メールで依頼
⇒紙で荷受け予定を共有

②

重量物・偏荷重・異形の貨物
(オーダーメイドの対応要)



(取引先に対して)

- 誤入力防止のためには？
 - 手間なく入力してもらうには？
- ⇒**選択式を採用、固有コードの活用**

(KHI社内で)

- 現場の業務最適化に合致する？
 - 期待将来像は？
- ⇒**固有コードの活用・画面の工夫**

**簡便な操作
を追求**

3. 坂出工場へのMOVO Berth導入

MOVO Berth導入スケジュール



3-2. 坂出工場へのMOVVO Berth導入 “規制への認識差異”

約200社に対し計5回の説明会を実施

- システム導入で効率化？
川重さんだけが得する話
になぜ協力？
- うちのドライバーは待ち
時間になっても、携帯
触っているか、寝てるん
で多少の待ち時間は大丈
夫ですよ

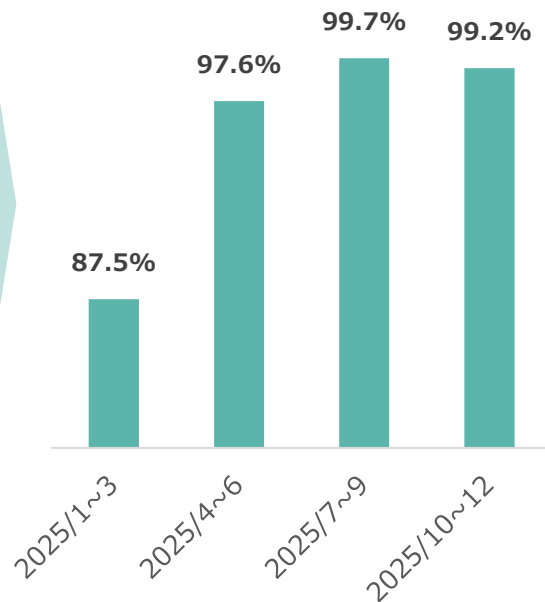


法令遵守意識が希薄な取引先

未予約納入の
取引先に対し
個別訪問の上、
Berth活用の啓
発を行った

MOVVO予約率の推移

(目標100%)



目次

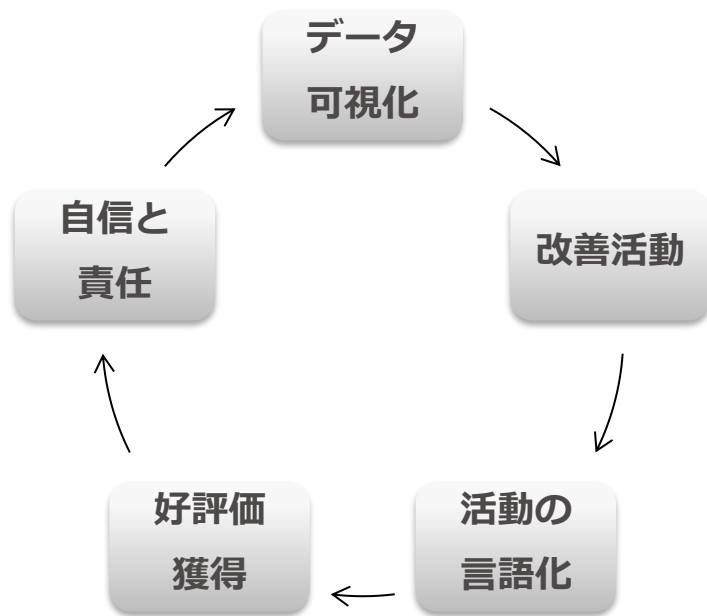
1. 川崎重工業株式会社について
2. コストエンジニアリング部とは
3. 坂出工場へのMOVVO Berth導入
4. 課題解決後の部署の進化
5. 社内展開と事業間協力

4-1.課題解決後の部署の進化 “改善気運の高まり”

改善課題の可視化

従来の経験・勘に頼っていた課題抽出は、実績データから数値化・可視化する事により、論拠のある抽出が可能となった。改善取り組み後の効果も明白に。

言語化により達成感実感



4-2.課題解決後の部署の進化 “工場全体への波及”

坂出工場では進化が続いている

BIツールによる
可視化

MOVO Berthの実績データをユーザー部門内で分析するだけに留まらず、BIツールで可視化を行い、他部門に向けても発信している



坂出工場内
他部署の追随

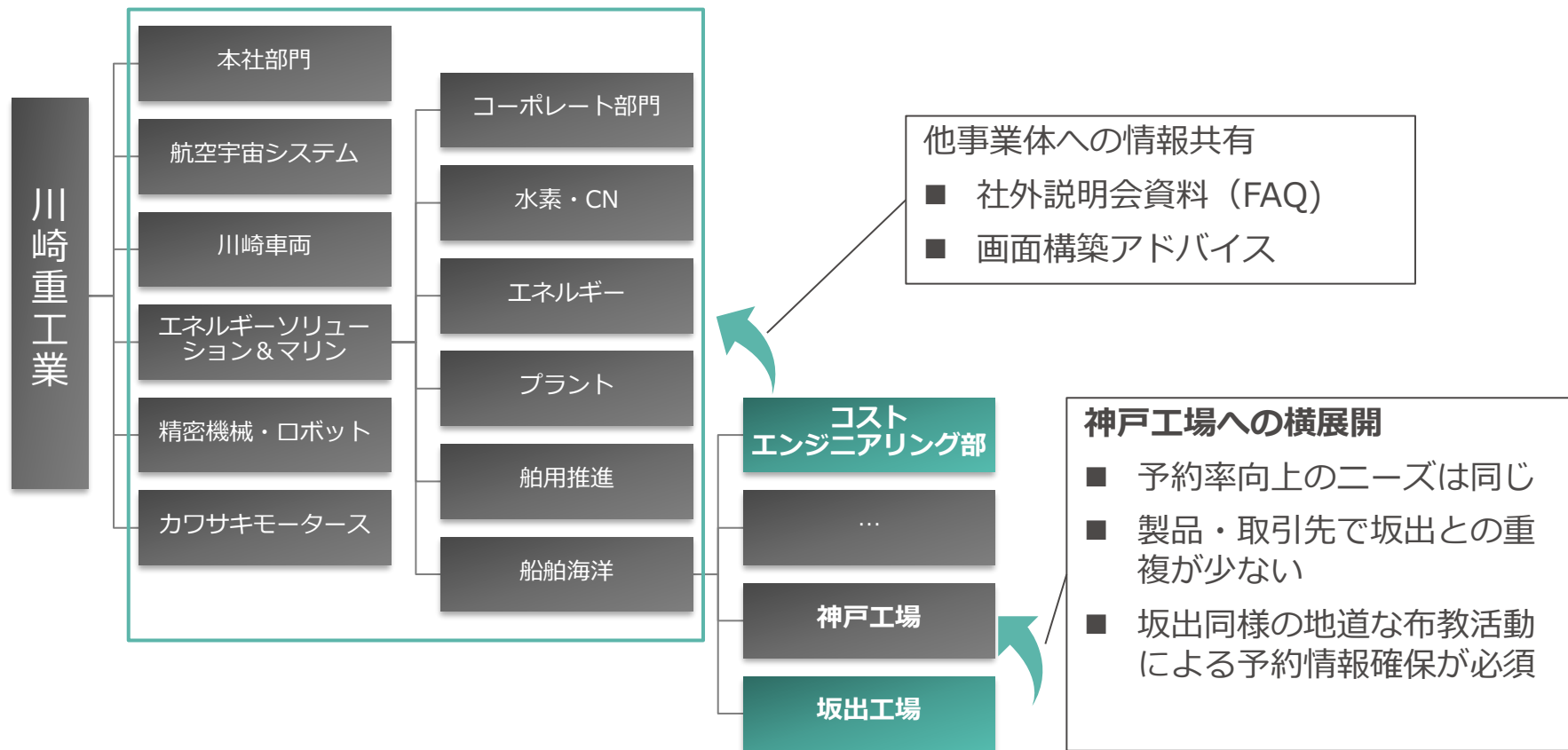
物流管理課所掌以外の荷物受け取り部門も、業務改善を動機にMOVO Berth導入を検討開始

目次

1. 川崎重工業株式会社について
2. コストエンジニアリング部とは
3. 坂出工場へのMOVVO Berth導入
4. 課題解決後の部署の進化
5. 社内展開と事業間協力



5.社内展開と事業間協力



5.社内展開と事業間協力 “新しい風”

物流情報交換会

(2019/4～ 7部門10人)

社内の物流課題を事業の垣根を超え課題解決・相乗効果を目指す会議体を有志が自主的に設立

各C・Div物流関連部門



自部門の課題に対し、類似事例を解決した他部門の好例を共有して貰える

物流情報交換会

(17部門30人/直近)

活動が盛り上がり、本社物流課が設立物流従事者を盛り上げる為、「改善発表会」の開催を提案・要請 ⇒ 実現

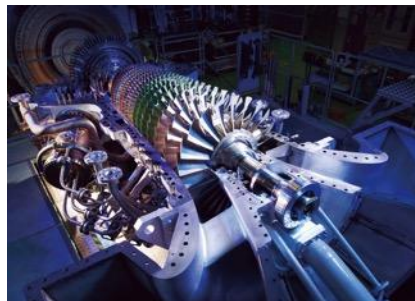
本社 コーポレート調達部 物流課



各C・Div物流関連部門



- 物流環境支援に向け、他部門も会議参画
- 価格情報共有による交渉マスメリットの創出（協議・検討中）



One Kawasaki Land. Sea. Air. Worldwide



世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する

“Global Kawasaki”



Facebook



LinkedIn

 **Kawasaki**
Powering your potential